

2024 年 2 月 5 日

通貨ニュース

トルコ:トルコ中央銀行のエルカン総裁が辞任～後任は米 NY 連銀の元エコノミストのカラハン氏に～

2 月 2 日、トルコ中央銀行(CBRT)のエルカン総裁が突如、辞任を表明した。エルカン総裁は複数の米金融機関の幹部を経験後、2023 年 5 月のトルコ大統領選挙・議会選挙後の 2023 年 6 月 9 日に就任した。エルカン総裁のもと、CBRT の政策金利は約半年で 8.5%から 45.0%まで引き上げられている。辞任の経緯は不明だが、現地紙が 1 月 18 日に、エルカン総裁が自身の父親に便宜を図っている、という CBRT の元職員と称する人物の告発を報じたことが影響した可能性があるだろう。同紙の報道を直接は確認できないものの、ブルームバーグ経由で報じられた内容を見ると、エルカン総裁の父エロル氏は、CBRT での正式な役職が無いにも関わらず、CBRT の人事に介入しているほか、公用車などが割り当てられているとされていた。なお、CBRT の元職員はエロル氏の指示で解雇されたと主張していた模様である。もともと、エルカン総裁はこうした疑惑を否定していた。

同日中に後任人事が発表されており、米 NY 連銀のエコノミストの経験のあるフアティ・カラハン氏が CBRT 総裁に就くこととなった。カラハン氏は 2023 年 7 月 28 日にエルドアン大統領によって指名された 3 名の副総裁の一人である。カラハン氏は市場の信認の高い人物であり、エルカン総裁の辞任によって、これまでの正統派の金融政策運営が再び急旋回してしまうリスクは低いと考えられる。

トルコリラはエルカン氏の辞任を受けて、瞬間風速的に対ドル 30.46 前後から 30.58 まで▲0.4%程度下落したが、その後は、値を戻している。市場の反応が冷静に留まっているのは、エルカン氏の辞任が私的な事情が理由であり、自らの意思で辞めたこと、速やかに後任人事が発表され、市場の信認の厚いカラハン副総裁が新総裁に就任する運びになったことが背景にあるだろう。

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。